

## 採 点 講 評

## 英 語

## 総 評

高1アドバンスト英語では、リスニング、文法・語法、英作文、自由英作文、長文読解など多様な形式で出題し、基本的な文法・語法の知識から表現力・読解力・記述力などの程度ついているかを試すことで、総合的な英語力を測っている。制限時間に対する問題量が多く、厳しい内容になってはいるが、アドバンスト模試を受験する難関大の志望者であれば、高校1年生のこの時期に、これだけの問題に対応できる実力をしっかりつけてほしい。また、模試なので得点差がはっきり出るよう、設問によっては部分点を排除し、かなり厳しく採点している。得点を見て落ち込んでしまうかもしれないが、これから何を重点的に復習すれば自分の英語の総合力・得点力が伸びるかを知ることのできる絶好のチャンスなので、大問ごとの出来や誤答の内容をきちんと確認して、今後の学習につなげよう。

## 問題別講評・採点基準

## ① リスニング

英文の放送が始まる前に設問に目を通す時間を設けたので、注意して聞くべきキーワードやポイントをあらかじめ予測しておくことと取り組みやすい。

## 問題A

英問英答形式の設問であるため、聞き取る力以外に速読力も求められる。

(1) ボランティア活動の内容がいくつか出てきたが、その中で最初にしようと思ったものが問われているので情報の整理が必要。

## 問題B

オーストラリアでの研修についての案内。オーストラリアではイギリス英語が使われているので、放送文最後の方では centre というつづりになっている。序盤に出てくるフィッシュアンドチップスはオーストラリア以外にイギリスでよく食べられることで有名な軽食で、主にタラなどの魚のフライにフライドポテトを添えたもの。

(1) と (5) の出来が悪い。

(1) では a が多めだが、現地の高校生だけでなく、パースの大学に通う学生も、オーストラリア出身の students である。

(5) 放送文全体を注意して聞く必要があったため、

難しかったと思われる。誤答では d が多め。

(6) 正答率はいずれも2~3割にとどまっている。

a「環境」を書けばよいとわかっても、正しく書けないと得点できない。environment はつづり・発音とも難しい単語なのでよく注意する。

b 交通手段が問われているとわかっている解答も多かったが、plane, train, bus は不正解。

## ② 文法・語法・英作文

## A 文法

(1) 誤答では圧倒的に c had lived が多い。基準になる過去があつてそれよりも前の時を表したい場合は過去完了を使うが、ここでは I was a child と「住んでいた」時は同じはずなので過去形が正しい。

(5) 誤答では d が多い。be used to doing と used to do の違いをしっかりと押さえよう。

(6) レベルが高い問題だった。誤答は a が圧倒的。another のこの用法は少し上級。

(9) 動名詞の意味上の主語についての出題。これもレベルが高い問題だった。

## B 整序英作文

語彙・文法の正確な知識と、それらを組み合わせて、条件に合った内容を英文で正しく表現する力を問うた。全体では、(2) と (3) に苦戦していた。

(2) the last を最初にもってこられた解答は多かったが、そのあとに動詞の happen をつなげてしまったものなどが目立ち、品詞も意識した文法学習が不十分だと感じた。

(3) ウイエオアカとしたものが散見された。助動詞を先頭に置くところまではよかったが、be 動詞のあとに形容詞ではなく doing を続けて cannot be choosing too careful in friends としたもののだが、「友人を選ぶ際に慎重になる」という意味にすべき。「…する際に」の意味の in doing という言い方を覚えておきたい。

## C 和文英訳

④、⑥ともに以下に示すパートに分け、減点法で採点を行った。細かい文法ミスが目立ったので、短時間で見直しまで終える練習をしておこう。

④ 配点は以下のとおり。

○私は、元日には決まって、起きたらすぐに年賀状を読

む……4点

○のだが、最近年賀状がメールに取って代われつつあるのは残念だ……5点

「取って代われつつある」では進行形の意味合いを出したい。「取って代わる」の意味を表す言い方を確認しよう。この動詞を使えなかった場合は、e-mails are being sent instead of ~のように工夫することもできる。また、the number of people を主語にして who ... is increasing のようにできれば、それも許容。

⑥ 配点は以下のとおり。

○いくら時間がかかっても、年に1回ははがきを出したいと思う……6点

○特に遠くに住む友人には……3点

「いくら…しても」では‘譲歩’の表現を用いる。解答、別解以外にも、no matter how という表現が使えるので確認しておこう。「出したいと思う」は直訳して I think I want to とはしないこと。want 一語で「…したいと思う」の意味をもつ。「特に」は、「友人」を修飾することがわかる語順を工夫したい。

### ③ 長文読解

ロックフェラーセンターに据えるクリスマスツリーの選び方の基準やメンテナンスなどについて書かれた説明文。すべて選択式の客観式設問。

設問はどれも、細かい点ではなく大筋をつかめていれば正解できるレベルのものだが、日頃、長文を読み慣れていないと、英文を読んだあとでさらに英語での質問に答えるというのはハードルが高かっただろうか。基本的な設問だったが、意外に正解できていない印象だった。

(2) もっとも正解者が少なかった。誤答では **b** が圧倒的に多かった。candidate は高1では難語と言えるが、前後の文脈から「ツリーの候補」を指していると思当をつけてほしい。

(3) 誤答は割れていて、**c**、**d** が半分ずつ。

### ④ 長文読解

ナイジェリアの少女による語り。学校に通っていた女子生徒が結婚してから学校に来なくなってしまった、という文脈を読み取るのが難しかったかもしれない。国や地域によってはそのような状況におかれている女子がいる、というような地球規模の社会問題についても普段から目を向けていることは英語や現代文の読解のための強力な武器になる。

(2) 比喩の示す内容を問う問題。該当箇所を見つけることに苦労している様子が見えがえた。答えの手がかりは常に本文にある。丁寧に本文を読もう。

(3) 配点は以下のとおり。

○ He allows her to keep them in ~ ……5点

○ the room beside their bedroom where she will stay

with their baby ~ ……8点

○ after it is born. ……2点

keep them in を「彼らが部屋に残る」、the room beside their bedroom を「彼らの寝室」、allows her to keep them in 「彼女にとどまることを許した」など細部の訳をおろそかにしているものが見られる。where が導く節の訳脱にも注意しよう。先行詞が their bedroom ではなく、the room の方であることを確認しておこう。

(4) 配点は以下のとおり。

○ Will there be enough time to watch a love story and then an adventure ……5点

○ before it is time to go home and help Mama with the evening meal? ……5点

before 節の前後、a love story and then ~ の前後を逆に訳さないよう訳し方を確認しよう。「映画を見る前に帰って母の手伝いを～」では before の前後の節が逆である。「恋愛ものを見て、それから〔そのあとで〕冒険もの」の部分でも、2つの順番を逆にしない点に注意する。この then も「～してそれから…」という時間のずれを丁寧に訳出したい。

### ⑤ 自由英作文

文法・語彙と内容・構成の2つの観点に分けて採点した。指定語数に対する不足・超過については、5点の減点。ただし、指定語数の半分(25語)未満のものについては、文法・語彙点を与えていない。

○文法・語彙点 ……10点

誤りの数に応じて、10点を越えない範囲で減点している。

○内容・構成点 ……10点

内容に応じて、10点(減点なし)、7点(-3点)、4点(-6点)、0点(-10点)のいずれかの点数をつけている。以下のような答えは内容・構成点の減点対象となる。

- ・賛成・反対の理由が説得力に欠けるもの
- ・賛成・反対の論旨に一貫性がないもの
- ・同じ内容の繰り返しになっているもの

今回のテーマは、高校の夏休みに宿題があることの賛否を問うものだった。賛成例では「宿題がないと勉強しない」「勉強するのが高校生の役割だ」、反対例では「他の勉強ができない」「夏休みは休むときだ」といった理由が挙げられていた。文法面では homeworks, in summer vacation といったミスが目立った。「特定の期間の間」と言う場合には during を用いる。自分の英作文が採点されるいい機会だったと思うのでどこが間違っていたのか、どう表現したらよかったのか、しっかり見直しておくこと。